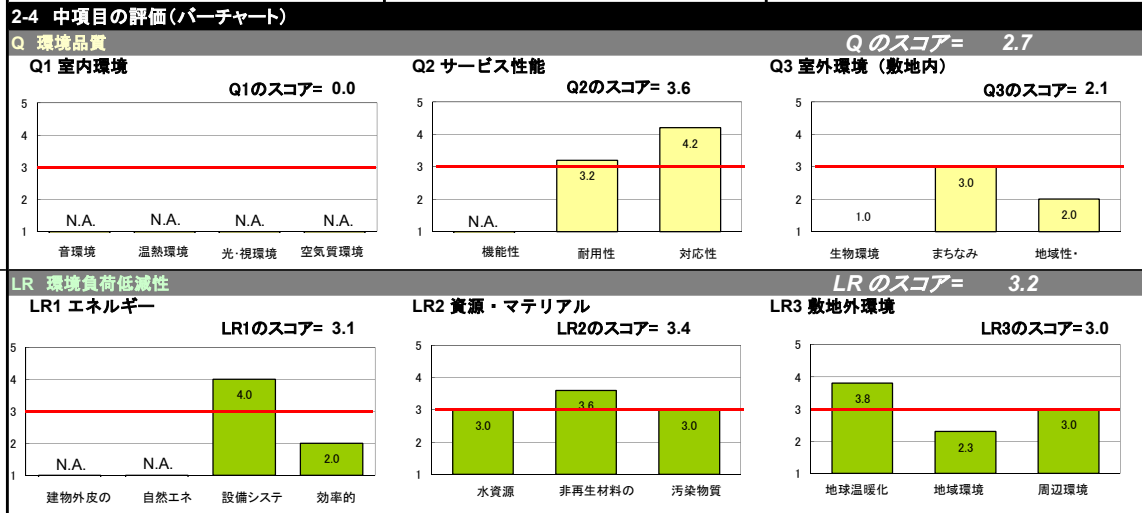
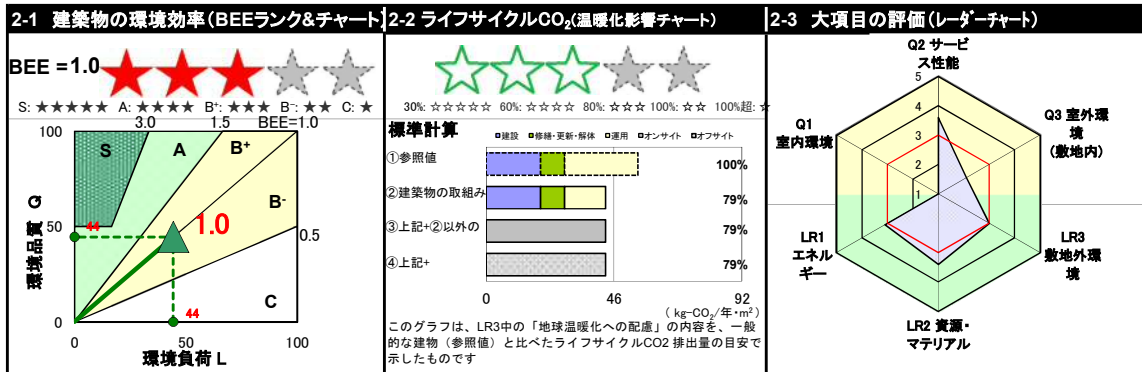


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(株)ハマキョウレックス豊川第2物流	階数	地上2F
建設地	愛知県豊川市	構造	S造
用途地域	工業専用地域、22条区域	平均居住人員	25 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,120 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年8月 予定	評価の実施日	2017年3月30日
敷地面積	2,610 m ²	作成者	久野 春雄
建築面積	1,452 m ²	確認日	2017年3月30日
延床面積	2,646 m ²	確認者	久野 春雄



3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
3.8	1.0
②資源の有効活用	④地域材の活用
3.6	1.0

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

④地域材の活用
Q-3 2 まちなみ・景観の配慮 4) 地域性のある素材による良好な景観形成

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} + \text{附属物面積}}$ × 100

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}}$ × 100

みんなの環境活動を応援しています
モリトキ 2017

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数		
		Q3 室外環境(敷地内)						-	0.57
1 生物環境の保全と創出	独自③			1.0	0.30		-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮	独自④			3.0	0.40		-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30		-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④			2.0	0.50		-		
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50		-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.2	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.1	
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPIm=			-		-	-	
2 自然エネルギー利用					-		-	-	
3 設備システムの高効率化				4.0	0.60		-	4.0	
集合住宅以外の評価(3a.3b)		LEDの設備を使用している		4.0	1.00		-		
集合住宅の評価(3c)					-		-		
4 効率的運用				2.0	0.40		-	2.0	
集合住宅以外の評価				2.0	1.00		-		
4.1 モニタリング				3.0	0.50		-		
4.2 運用管理体制				1.0	0.50		-		
集合住宅の評価					-		-		
4.1 モニタリング					-		-		
4.2 運用管理体制					-		-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.4	
1 水資源保護				3.0	0.15		-	3.0	
1.1 節水				3.0	0.40		-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67		-		
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33		-		
2 非再生性資源の使用量削減				3.6	0.63		-	3.6	
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07		-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用	② 独自	既存建物の躯体継続利用、仕上最小限改修		5.0	0.25		-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		再生砕石		3.0	0.21		-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.21		-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-		-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自	躯体と仕上材が用意に分別可能		4.0	0.25		-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22		-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	1.00		-		
3.2 フロン・ハロンの回避				-	-		-		
1 消火剤				-	-		-		
2 発泡剤(断熱材等)				-	-		-		
3 冷媒				-	-		-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.0	
1 地球温暖化への配慮				①	ライフサイクルCO2概算値:79%	3.8	0.33	-	3.8
2 地域環境への配慮				2.3	0.33		-	2.3	
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25		-		
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50		-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.5	0.25		-		
1 雨水排水負荷低減	独自			3.0	0.25		-		
2 汚水処理負荷抑制	独自			3.0	0.25		-		
3 交通負荷抑制				3.0	0.25		-		
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25		-		
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33		-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-		
1 騒音	独自			3.0	1.00		-		
2 振動	独自			-	-		-		
3 悪臭				-	-		-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40		-		
1 風害の抑制				3.0	0.70		-		
2 砂塵の抑制					-		-		
3 日照障害の抑制				3.0	0.30		-		
3.3 光害の抑制				3.0	0.20		-		
1 屋外照明及び屋内照明のつららに漏れる光への対策				3.0	0.70		-		
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30		-		

重点項目スコアシート

(株)ハマキョウレックス豊川第2物流センター

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2014年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	
② 資源の有効活用				3.6
Q2-2	耐震性・信頼性	3.2	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	4.2	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.6	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:27.6%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用				1.0
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (株)ハマキョウレックス豊J

計画上の配慮事項	
総合	室内環境については、内装に使用する内装材及び塗料等は全てF☆☆☆☆とすることや、休憩スペース、自販機を設けることでサービス性能について配慮している。 室外環境については、設備の効率化を図ることや、適切な量の駐車場を設けている。
Q1 室内環境	室内環境については内装に使用する内装材及び塗料等は全てF☆☆☆☆とすることで配慮している。
Q2 サービス性能	事務室に休憩スペースを設けることでサービス性能について配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	適切な緑地づくりを行っている。
LR1 エネルギー	設備の高効率化を図っている。
LR2 資源・マテリアル	既存建物の解体、改修範囲を出来るだけ少なく抑え、廃材の発生を抑制している。
LR3 敷地外環境	適切な量の駐車場を設けている。
その他	特に無し